

国際文化学部 2024年度適用カリキュラムマップ

ディプロマ・ポリシー	【知識・技能】	①日本および世界の各地域の文化・歴史・社会・政治・経済などを十分に理解し、グローバル社会における多文化理解ができている。 ②国際社会における文化的・歴史的・社会的・政治的・経済的な対立の構造を理解し、その解決のための行動のあり方を考察することができる。 ③多文化共生社会において求められる実践的な外国語運用能力とコミュニケーション能力を身につけている。
	【思考力・判断力・表現力】	④持続的・社会的形成のための思考力・判断力・行動力を身につけている。
	【主体性・多様性・協働性】	⑤多文化共生社会における豊かな許容性を理解し、協働の精神をもってその実現へ向けての考えを整理し、他者に対して説明することができる。 ⑥国際社会の一員として、十分な国際理解のもとに、国際交流活動に参画することができる。
		⑦「敬神愛人」の精神が国際社会・多文化共生社会の中で重要な実践課題であることを自覚し、地域との協働や他者理解の必要性をよく理解している。

◎: DP達成のために特に重要な科目

○: DP達成のために重要な科目

分野	新科目名	単位数		ナンバリング	科目概要	カリキュラム・マップ							AL (アクティブ・ラーニング)			
		必	選			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦				
語 学 科 目	基礎英語1	1	1	WB1101	高校までに学んできた英語の語彙・文法等の知識を確認・定着させ、大学における学びの基礎となる英語運用能力を身につけるとともに、各種検定への対応を視野に入れた指導を行う。			◎							○	
	基礎英語2	1	1	WB1102	「基礎英語1」で学んだ内容をベースに、英語の語彙・文法等の知識を拡充させ、大学における学びの基礎となる英語運用能力を身につけるとともに、各種検定への対応を視野に入れた指導を行う。			◎							○	
	英語表現1	1	1	WB1103	英語での日常的なやり取りに必要な表現と方略を身につけることに加え、ある課題に対しての自身の意見を口頭および文書で発表する練習を通し、英語を用いての発信力を身につける。			◎	○						◎	
	英語表現2	1	1	WB1104	英語での日常的なやり取りに必要な表現と方略を充実させるとともに、プレゼンテーションやディスカッションなどの発展的な活動の練習を通し、英語を用いての発信力を伸ばす。			◎	○							◎
	TOEIC英語基礎1		1	1	WB1301	英語の基礎的な語彙・文法等の知識を再確認しながら、社会人の英語力評価に多く用いられるTOEICの問題に対応するための英語基礎力を身につける。			◎							○
	TOEIC英語基礎2		1	1	WB1302	TOEICでの500点の取得を目標として、実際の出題形式に即した教材を用い、各パートの問題の特徴をつかみながら、総合的な英語基礎力を身につける。			◎							○
	TOEIC英語実践1		1	2	WB2301	すでにTOEIC500点程度の英語力を持つ学生を主な対象とし、実際の出題形式に即した教材を用い、各パートの問題に対応できる総合的な英語基礎力を身につける。			◎							○
	TOEIC英語実践2		1	2	WB2302	すでにTOEIC500点程度の英語力を持つ学生を主な対象とし、TOEICでの700点の取得を目標として、問題演習を通して各パートの問題に対応できる総合的な英語基礎力を身につける。			◎							○
	入門ドイツ語1		1	1	WB1201	「基礎ドイツ語」とならんで、ドイツ語を読み書き話すために欠くことのできない基本的な文法知識を学ぶ。また学習を通して、ものごとを正確かつ精密に考える力を養う。	○	○	◎		○					◎
	入門ドイツ語2		1	1	WB1202	入門ドイツ語1を継続し、過去や未来の表現、受動態、関係代名詞など、さらに進んだ文法知識を習得する。	○	○	◎		○					◎
	基礎ドイツ語1		1	1	WB1203	「入門ドイツ語」で学ぶ基本的な文法知識を反復練習しつつ、会話を中心としたドイツ語表現力を身につける。また言葉を通じた異文化との出会いを体験していく。	○	○	◎		○					◎
	基礎ドイツ語2		1	1	WB1204	「基礎ドイツ語1」を継続し、さらに進んだ表現形式を学びながら、異文化理解を深めていく。	○	○	◎		○					◎
	発展ドイツ語1		1	2	WB2201	「応用ドイツ語」とならんで、一年次で学んだ基礎知識を確認しながら、ドイツ語によるコミュニケーション能力に磨きをかける。あわせて、ドイツ文化の特性も理解していく。	○	○	◎		○					◎
	発展ドイツ語2		1	2	WB2202	「発展ドイツ語1」を継続し、ドイツの社会や文化への関心を深めていく。	○	○	◎		○					◎
	応用ドイツ語1		1	2	WB2203	「発展ドイツ語」とならんで、初等文法を終えたことを前提に、日常会話に不可欠な表現を確認しながら、さらに進んだ応用力を身につける。あわせて、ドイツ文化への理解も深めていく。	○	○	◎		○					◎
	応用ドイツ語2		1	2	WB2204	「応用ドイツ語1」を継続し、ドイツ語表現の応用に磨きをかけていく。	○	○	◎		○					◎
	入門フランス語1		1	1	WB1205	英語全盛の時代であるが、国際機関における公用語として第二の勢力を維持し続けるフランス語に触れておく意義は大きい。本科ではフランス語の基礎を、綴りの発音から徹底的に学ぶ。			◎	○	◎	○				
	入門フランス語2		1	1	WB1206	「基礎フランス語1」に続く科目である。本科では特に動詞の活用に入力したい。フランス語の動詞活用の難しさは定評があるが、これを越えなければフランス語習得は可能である。			◎	○	◎	○				
	基礎フランス語1		1	1	WB1207	「入門フランス語」と組みになって、1年次終了時に実用フランス語技能検定試験5級程度(学習50時間以上)の実力をつけたい。入門で学んだ基礎知識をさらに定着させ応用する。			◎	○	◎	○				
	基礎フランス語2		1	1	WB1208	「基礎フランス語1」に続く科目である。フランス語検定試験5級の実力をめざし、知識に磨きをかける。			◎	○	◎	○				
	発展フランス語1		1	2	WB2205	本授業は2年次のフランス語科目である。基本的な文法事項の知識を完全なものとする。2年次終了時点でフランス語検定試験4級、さらには同3級の実力獲得を目指した。			◎	○	◎	○				
	発展フランス語2		1	2	WB2206	本授業は「発展フランス語1」に続く科目である。引き続きフランス語検定試験4級の実力達成を目標とする。			◎	○	◎	○				
	応用フランス語1		1	2	WB2207	本授業は「発展フランス語1」に続く科目である。引き続きフランス語検定試験4級の実力達成を目標とする。目標はやはり、フランス語検定試験3・4級の実力獲得である。			◎	○	◎	○				
	応用フランス語2		1	2	WB2208	本授業は「応用フランス語1」に続く科目である。フランス語の理解力(読む、聞く)だけでなく、自ら使いこなす力(書く、話す)の基礎を固めてゆく。			◎	○	◎	○				
	入門スペイン語1		1	1	WB1209	本授業はスペイン語の基礎を習得するクラスであり、スペイン語の発音に慣れ、基本的な挨拶表現と現在時制を用いた自己表現ができるようになることを目的とする。			◎	○	◎	○				
	入門スペイン語2		1	1	WB1210	本授業は、「入門スペイン語1」に続き、スペイン語の基礎を習得するクラスであり、スペイン語の発音に慣れ、現在時制を用いた基本的な自己表現ができるようになることを目的とする。			◎	○	◎	○				
	基礎スペイン語1		1	1	WB1211	入門スペイン語と組みになって、1年次終了時にスペイン語検定試験6級程度の実力をつけることを目標とする。入門で学んだ基礎知識をさらに定着させ応用する。			◎	○	◎	○				
	基礎スペイン語2		1	1	WB1212	「基礎スペイン語1」に続く科目である。スペイン語検定試験6級の実力を目指し、知識に磨きをかける。			◎	○	◎	○				
	発展スペイン語1		1	2	WB2209	本授業は2年次のフランス語科目である。基本的な文法事項の知識を完全なものとする。2年次終了時点でフランス語検定試験4級、さらには同3級の実力獲得を目指した。			◎	○	◎	○				
	発展スペイン語2		1	2	WB2210	本授業は「発展フランス語1」に続く科目である。引き続きフランス語検定試験4級の実力達成を目標とする。			◎	○	◎	○				
応用スペイン語1		1	2	WB2211	本授業は「発展フランス語1」に続く科目である。引き続きフランス語検定試験4級の実力達成を目標とする。目標はやはり、フランス語検定試験3・4級の実力獲得である。			◎	○	◎	○					

国際文化学部 2024年度適用カリキュラムマップ

ディプロマ・ポリシー	【知識・技能】	①日本および世界の各地域の文化・歴史・社会・政治・経済などを十分に理解し、グローバル社会における多文化理解ができている。 ②国際社会における文化的・歴史的・社会的・政治的・経済的な対立の構造を理解し、その解決のための行動のあり方を考察することができる。 ③多文化共生社会において求められる実践的な外国語運用能力とコミュニケーション能力を身につけている。
	【思考力・判断力・表現力】	④持続的社会的形成のための思考力・判断力・行動力を身につけている。
	【主体性・多様性・協働性】	⑤多文化共生社会における豊かな許容性を理解し、協働の精神をもってその実現へ向けての考えを整理し、他者に対して説明することができる。 ⑥国際社会の一員として、十分な国際理解のもとに、国際交流活動に参画することができる。
		⑦「敬神愛人」の精神が国際社会・多文化共生社会の中で重要な実践課題であることを自覚し、地域との協働や他者理解の必要性をよく理解している。

◎: DP達成のために特に重要な科目

○: DP達成のために重要な科目

分野	新科目名	単位数	配当年次	ナンバリング	科目概要	カリキュラム・マップ							AL (アクティブ・ラーニング)	
						①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
	応用スペイン語2	1	2	WB2212	本授業は「応用フランス語1」に続く科目である。フランス語の理解力(読む、聞く)だけでなく、自ら使いこなす力(書く、話す)の基礎を固めてゆく。			◎	○	◎	○			
	入門中国語1	1	1	WB1213	中国語の4つの方面(聞く・話す・読む・書く)の基礎を身に付けるため、発音・文字表記・基礎的な語彙・基礎的な文型や日常よく使う文句、などを学習し、最低限のコミュニケーション能力の習得を目標とする。			◎						
	入門中国語2	1	1	WB1214	中国語の4つの方面(聞く・話す・読む・書く)の基礎を身に付けるため、発音・文字表記・基礎的な語彙・基礎的な文型や日常よく使う文句、などを学習し、最低限のコミュニケーション能力の習得を目標とする。			◎						
	基礎中国語1	1	1	WB1215	中国語の4つの方面(聞く・話す・読む・書く)の基礎を身に付けるため、発音・文字表記・基礎的な語彙・基礎的な文型や日常よく使う文句、などを学習し、最低限のコミュニケーション能力の習得を目標とする。			◎						
	基礎中国語2	1	1	WB1216	中国語の4つの方面(聞く・話す・読む・書く)の基礎を身に付けるため、発音・文字表記・基礎的な語彙・基礎的な文型や日常よく使う文句、などを学習し、最低限のコミュニケーション能力の習得を目標とする。			◎						
	発展中国語1	1	2	WB2213	言語の基本四技能を更に伸ばすとともに、中国語を使用する可能性の有る様々な機会(日常的会話、接客、その他)に対応できる力を付ける。「応用中国語1」と異なる教材を使うことで、多様な場面設定で学習する。			◎						
	発展中国語2	1	2	WB2214	第2外国語としての中級レベルの実力を総合的に伸ばす。会話を聞いたり理解する力を伸ばすとともに、基本的な文を作る力や話す力を養成する。「応用中国語2」と異なる教材を使うことで、語彙や解釈力の幅を広げる。			◎						
	応用中国語1	1	2	WB2215	言語の基本四技能を更に伸ばすとともに、中国語を使用する可能性の有る様々な機会(日常的会話、接客、その他)に対応できる力を付ける。「発展中国語1」と異なる教材を使うことで、多様な場面設定で学習する。			◎						
	応用中国語2	1	2	WB2216	第2外国語としての中級レベルの実力を総合的に伸ばす。会話を聞いたり理解する力を伸ばすとともに、基本的な文を作る力や話す力を養成する。「発展中国語2」と異なる教材を使うことで、語彙や解釈力の幅を広げる。			◎						
	英語で学ぶ日本の文化	2	1	WB1303	海外の文化と比較しながら英語を用いて日本の文化について学び、自らの文化を客観的に理解するとともに、その内容を英語で発信する力を身につけ、異文化理解や異文化間交流の礎を築く。	○		◎			○		◎	
	英語で学ぶ世界の文化	2	1	WB1304	世界の諸文化の中からいくつかを取り上げ、それらを英語の資料を用いて理解することで、国際理解のための英語力を高めるとともに、文化の多様性を受け入れる素	○		◎			○		◎	
	英語で学ぶ異文化理解	2	1	WB1305	英語の資料を用いて、異文化理解の必要性、世界に見られる異文化間摩擦、身近な異文化理解などについて理解・考察する機会を与え、多文化共生社会に生きる上での豊かな許容性を育む。	○		◎		○			◎	
	英語で学ぶ時事問題	2	1	WB1306	様々なメディアが発信する記事等の読解およびそれらについての議論を通し、世界で起こっている様々な時事問題について理解し議論するために必要な英語力を養う。	○		◎	○				◎	
	英語で学ぶSDGs	2	2	WB2303	各種資料の読解や議論などを通し、国連「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された持続可能な開発目標についての理解を深め、持続可能な社会づくりに関わるための英語力を養う。	○		◎	○				◎	
	英語で学ぶ環境・エネルギー問題	2	2	WB2304	これまで人間が工業化の進展・化石燃料の大量消費などにより環境に大きな負荷をかけてきたことを省みながら、環境・エネルギーに関する諸課題について英語を用いて理解・議論する力を養う。	○	○	◎					◎	
	英語で学ぶ健康と食糧	2	2	WB2305	世界保健機構(WHO)や世界食糧計画(WFP)、その他国際NGOなどの資料を基に、世界の健康・食糧事情を理解するとともに、課題解決に向けた提案を英語で行う力を	○		◎	○				◎	
	英語で学ぶ差別問題	2	2	WB2306	人種・性・宗教・障がいなどにより生じているさまざまな差別の問題について、各種資料の読解を通して理解を深めるとともに、その解決・改善に向けた提案を英語で行う	○	○	◎		○			◎	
	英語で学ぶ平和	2	2	WB2307	多様な資料を通し、平和を希求する人々や組織の活動、あるいは平和を妨げる様々な要因についての理解を深め、平和な世界の実現に向けて私たちが取るべき手段について考察する。	○	○	◎					◎	
	英語で学ぶ世界遺産	2	2	WB2308	主な世界遺産の成り立ちや、ユネスコを中心とする世界遺産保護活動の実際、世界遺産が抱える諸課題などについて資料を用いて理解するとともに、課題解決に向け	○		◎	○				◎	
	英語で学ぶ教育問題	2	2	WB2309	世界における教育の現状を把握したうえで、世界中の人々が質の高い教育を受けられるようにするためにはどうすべきかを、さまざまな資料の理解および考察を通して議論する力を養う。	○		◎	○		○		◎	
	ドイツ語で学ぶドイツ文化	2	3	WB3301	ドイツ語既習者を前提に、ドイツ語で書かれたテキストを読みながら、読解力を養いつつ、ドイツ文化への理解を深めていく。	○	○	◎		○			◎	
	ドイツ語で学ぶドイツ事情	2	3	WB3302	ドイツ語既習者を前提に、ドイツ語で書かれたテキストを読みながら、ヨーロッパの中心に位置するドイツの歴史を含め、現代ドイツの様々な事情を学ぶ。	○	○	◎		○			◎	
	フランス語で学ぶフランス文化	2	3	WB3303	本授業は、2年次までのフランス語学習を終えてさらにフランスに関する知識を深めたい者のための科目である。実力的には、実用フランス語技能検定試験3級レベルを	○		◎	○	◎	○			
	フランス語で学ぶフランス事情	2	3	WB3304	本授業も「フランス語で学ぶフランス文化1」と同趣旨の科目である。フランス語を通して、フランスについてより幅広い教養を身につける。並んで、フランス語能力のより一層の向上も目指す。	○		◎	○	◎	○			
	スペイン語で学ぶスペイン文化	2	3	WB3305	本授業は、2年次までのスペイン語学習を終えてさらに上を目指したい者のための科目である。語学力の向上に加え、スペイン文化についても教養を深める。	○		◎	○	◎	○			



国際文化学部 2024年度適用カリキュラムマップ

ディプロマ・ポリシー	【知識・技能】	①日本および世界の各地域の文化・歴史・社会・政治・経済などを十分に理解し、グローバル社会における多文化理解ができている。 ②国際社会における文化的・歴史的・社会的・政治的・経済的な対立の構造を理解し、その解決のための行動のあり方を考察することができる。 ③多文化共生社会において求められる実践的な外国語運用能力とコミュニケーション能力を身につけている。
	【思考力・判断力・表現力】	④持続的社会的形成のための思考力・判断力・行動力を身につけている。
	【主体性・多様性・協働性】	⑤多文化共生社会における豊かな許容性を理解し、協働の精神をもってその実現へ向けての考えを整理し、他者に対して説明することができる。 ⑥国際社会の一員として、十分な国際理解のもとに、国際交流活動に参画することができる。
		⑦「敬神愛人」の精神が国際社会・多文化共生社会の中で重要な実践課題であることを自覚し、地域との協働や他者理解の必要性をよく理解している。

◎: DP達成のために特に重要な科目  
○: DP達成のために重要な科目

分野	新科目名	単位数		ナンバリング	科目概要	カリキュラム・マップ							AL (アクティブ・ラーニング)			
		必	選			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦				
国際文化科目	英米文学概論	2	2	WB2321	イギリスとアメリカの文学作品と作家について、概要を論じるとともに、代表的な作品や作家についても取り上げて論じる。また、国際的視野から見たイギリス文学とアメリカ文学のそれぞれの特徴についても考察する。	◎					◎					
	英米文学史	2	2	WB2322	イギリス文学史とアメリカ文学史について、黎明期から現代までの、歴史の変遷や社会的背景の中での文学の変化の流れについて、入門的な切り口から分かり易く論じる。	◎					◎					
	環太平洋地域研究	2	2	WB2323	環太平洋地域での民族文化交流のあり方の考察に際し、環太平洋という一つの概念で括られた文化的・経済的・社会的諸関係について考察し、環太平洋地域の理解を進める。	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	
	現代アジア文化社会論	2	2	WB2324	東南アジアのフィリピン共和国について、現代アジアの文化・社会を論じる。フィリピンの概要、民族分布、言葉、教育制度、文化的価値観、社会規範、市場(いちば)、ジェンダー、日本との関係である。歴史的背景にも適宜言及しつつ、現代フィリピンの文化・社会に関して理解を深める(異文化理解)。	◎								◎		
	日中関係論	2	2	WB2325	日中の相互理解には、両国間の摩擦の原因を深く理解する必要がある。本講義では、中国人知識人の日中関係に関する論考について主に考察し、日本側の代表的な見解と比較対照することで、日中関係を多面的に捉える能力を養成する。		◎		◎			○				
	アジア政治経済論	2	2	WB2326	第二次世界大戦後に独立を達成したアジアの多くの国々には、多様な民族を国民として統合していくこと、政治的な独立だけでなく経済的に自立することが課題となった。アジア政治経済論では、東南アジアを中心に、この政治・経済的課題や、その歴史的背景、日本との関係を考え	◎	○									
	アジア地域研究	2	2	WB2327	アジア地域を対象に、政治、経済、社会的背景を、記録されたドキュメント、映像等によって分析し、どう考察に導くかを、実際に作業することを中心に授業を進めていく	◎	○	○	○	◎	○	○			◎	
	ジェンダー論	2	2	WB2328	性自認と性的指向、性別による役割分業、ジェンダーをめぐる諸問題を通して、ジェンダーの視点を理解するとともに、日常的なジェンダー・ギャップを小さくする方法を検討する。	◎			◎	○						
	世界遺産論	2	2	WB2329	ユネスコは、人類が共有する財産であり未来へと継承されるべきものとして世界遺産を認定し、これらの保全を喚起している。この認識は人間文化の地域性と多様性を考察するに際して不可欠のものである。具体例を紹介し世界遺産を学ぶ。日本と世界の文化・歴史・社会を学び、グローバル社会と多文化を理解する。	○	○		◎	◎	○	◎				
グローバル文化科目	グローバル社会文化論	2	1	WB1217	文化は本来的に境界を超えることでその国際性を保持し、国境や民族や宗教を超えてグローバルな文化世界を形成してきた。現代社会の文化交流と文化変容、そして文化創造の在り方を学ぶ。	○	○		○	◎	◎					
	宗教人類学	2	1	WB1313	世界各地のケガレ観念・シャーマニズム・葬送など宗教的実践を事例にとりあげ、人類が自分たちが生きている世界をどのように想像しそれに働きかけるかを理解する。	◎					◎					
	ヨーロッパの思想	2	1	WB1314	ヨーロッパ思想の内、本科目では「心身論」を取り上げる。意識とは、精神とは何かを考えるこのテーマは、今日のAI(人工知能)論争にもつながる、人類普遍の古くて新しい問題である。				◎	◎						
	ヨーロッパの文学	2	1	WB1315	ドイツの文豪ゲーテの代表作『ファウスト』を基にして、ヨーロッパ文学の根本的理念を学ぶ。とりわけ「悪魔との契約」を基に展開される人間ドラマの意義を追究する。		◎		◎	○						
	ヨーロッパの芸術	2	1	WB1316	スペインを代表する芸術家(主に画家、稀に建築家)や作品(主に絵画作品、たまに建造物)を取り上げ、芸術家や作品、彼らやそれらを取り巻く背景を論じていく。		◎		◎	○						
	異文化コミュニケーション論	2	2	WB2217	文化とコミュニケーション、特に、異文化間関係に及ぼすコミュニケーションの要素に焦点を当てる。また、異文化間コミュニケーションの原則を発展応用させ、英語の談話能力を強化をさせることが出来る。	◎		◎						◎		
	比較文化・社会論1	2	2	WB2330	ヨーロッパの文化・社会と日本の文化・社会のあり方を比較考察する。異文化に向き合い、自文化を再認識する過程で批判的かつ複合的な世界観を学ぶ。	○	◎		○	○	○					
	比較文化・社会論2	2	2	WB2331	本科目では、西洋社会と日本社会の表層的な比較などはしない。テーマは、今日世界を席巻している西洋近代科学文明の淵源と特質を探ることである。ここにこそ本質的比較論がある。	◎	◎		◎							
	キリスト教文化論1	2	2	WB2332	人類の歴史で、音楽と宗教は密接な関係にある。聖書の内容を伝えるために、音楽がどのように用いられてきたか、教会音楽の役割や機能について学ぶ。	◎								◎		
	キリスト教文化論2	2	2	WB2333	キリスト教芸術の絵画に表された主題や図像について、聖書から学び、作品表現の様式的な変化を生じさせた西洋文化の思想背景や、その歴史的要因について学ぶ。	◎								◎		
宗教と平和	2	2	WB2334	平和を求めざる宗教同士がなぜ戦うのか。グローバル社会におけるテロや戦争について、宗教の視点から、平和思想について学ぶ。		◎							○			
欧米文化論	2	2	WB2335	14世紀から20世紀初頭までの西洋絵画の歴史を概観する。ルネサンス揺籃期から、初期ルネサンス、盛期ルネサンス、マニエリスム、バロック、ロココ、新古典主義、ロマン主義、写実主義、印象派、新印象派、後期印象派に至るまでの西洋絵画の様式(流派)、代表的な画家や作品を美術史的観点から辿っていく。	◎	◎		○	○	○						
現代中国事情	2	2	WB2336	本講義は、現代中国の社会・政治・経済・文化に関する基礎知識を伝授することを目的とする。経済発展が著しい中国は刻々と変化しているため、最新のデータに目を配り、その変化を象徴するようなトピックスを中心に取り上げる	○	◎						◎				

国際文化学部 2024年度適用カリキュラムマップ

ディプロマ・ポリシー	【知識・技能】	①日本および世界の各地域の文化・歴史・社会・政治・経済などを十分に理解し、グローバル社会における多文化理解ができている。 ②国際社会における文化的・歴史的・社会的・政治的・経済的な対立の構造を理解し、その解決のための行動のあり方を考察することができる。 ③多文化共生社会において求められる実践的な外国語運用能力とコミュニケーション能力を身につけている。
	【思考力・判断力・表現力】	④持続的・社会的形成のための思考力・判断力・行動力を身につけている。
	【主体性・多様性・協働性】	⑤多文化共生社会における豊かな許容性を理解し、協働の精神をもってその実現へ向けての考えを整理し、他者に対して説明することができる。 ⑥国際社会の一員として、十分な国際理解のもとに、国際交流活動に参画することができる。
		⑦「敬神愛人」の精神が国際社会・多文化共生社会の中で重要な実践課題であることを自覚し、地域との協働や他者理解の必要性をよく理解している。

◎: DP達成のために特に重要な科目  
○: DP達成のために重要な科目

分野	新科目名	単位数	配当年次	ナンバリング	科目概要	カリキュラム・マップ							AL (アクティブ・ラーニング)	
						①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
	南アジア文化社会論	2	2	WB2337	南アジアの文化・社会をヒンドゥー教に着目しつつ学ぶ。その世界観、時間論、神々と祭り、歴史をとりあげ、広くアジアの精神文化の源泉となってきたヒンドゥー教の奥行きと可能性を理解する。	◎	◎							
	グローバル・ヒストリー	2	2	WB2338	グローバル化が進んでいる現代世界の情勢を踏まえて、国家史や民族史の枠組みにとらわれない、繋がりをキーワードとした様々な観点からの世界の歴史について学ぶ。	◎				◎	◎			
	中国社会経済論	2	2	WB2339	中国は世界第2位の経済大国であり、日本あるいは日本経済は中国の存在抜きには立ちいかなくなっている。本講義では、中国経済を単にデータとして捉えるのではなく、中国社会が付与する経済の特色にスポットを当てて考察する。		◎				◎			
	イスラム世界論	2	2	WB2340	総人口の4分の1以上がイスラム教徒である現代世界の状況を踏まえて、イスラムについての基礎知識や、イスラム世界に含まれる各地域・国家の諸問題について理解を深める。	◎			◎	○	○			
	グローバル文化実習	2	2	WB2341	フィールドツアーを催行する。事前に訪問先文化の調査を行ったうえで現地を訪れ、当該文化の実践を観察し関係者に話を聞き、他の文化と比較検討する。一連の作業を通じ文化を相対的にみる視点を養う。	◎				○	◎			
国際協力・共生科目	SDGs理解	2	1	WB1218	わたしたちが住む地球には、気候変動、貧困や飢餓、差別など、多数の課題が存在する。持続可能な開発に向けて、課題を自分ごととして考え、改善に向けて主体的に行動する必要性を理解する。	◎	○		◎					○
	国際協力・共生実習1	2	1	WB1317	外国ルーツの子どもたちへの日本語・学習支援に参加し、多文化共生社会の意義を理解するとともに、その課題を解決する実践的な能力を身につける。				○	○	◎	○	◎	◎
	国際協力論	2	2	WB2218	世界における格差・貧困、南北問題、グローバル化、自分との関わりに触れ、国際協力の必要性を考える。国連、日本政府、民間団体による国際協力を考察する。以上の検討を通じ、国際協力の現状、意義、課題を明らかにする。国際社会の一員として国際理解を深め、国際協力に参加するための基礎的な知識を身につける。		○	○	◎	○	◎			
	国際協力・共生実習2	2	2	WB2342	国際協力スタディツアーに参加し、国際社会における文化的・歴史的・社会的・政治的・経済的な対立の構造とともに、持続可能な社会に向けた取り組みを理解する。	○	◎		○		◎	○		◎
	多文化共生社会論	2	2	WB2343	1970年代後半から日本に移住し、生活する外国人が増え、現在、その数は250万を超えた。外国人居住者の増加に伴い、日本社会は多文化的な社会となった。本講義では多文化社会の成立経緯、現状、多文化共生の理念に基づく施策、諸団体の取り組みを取り上げ、考察する。	◎			◎			◎		
	国際関係論	2	2	WB2344	冷戦以前の時代と、ポスト冷戦からの時代に分け、国際関係論で用いられる基本的な思考軸を提示し、国際関係論の理論が、どのように事象分析に用いられるのかを学びながら、現在の国際社会を理解する。	◎	◎	○	○	○	○	○		○
	国際環境論	2	2	WB2345	産業革命以降の経済的発展と人口の急激な増加は、複雑で多様な世界における地球環境問題として人類のあり方に再考を迫っている。そのような地球環境の現状と変動のプロセスを明らかにする。				◎					
	国際人権論	2	2	WB2346	すべての人々が平等であることが望ましいとされるなか、決して平等な立場に置かれていない人々が数多くいる。国際人権論では、学生が人権保護の歴史とその国内的・国際的な保護のしくみを概観し、つづいて生命・女性・子ども・先住民といったトピックごとに、問題の所在と解決策を具体的に考える。	◎			○	○				
	国際平和学	2	2	WB2347	21世紀に入っても世界各地で戦争・紛争・テロはますます激しさを増している。なぜ、このような暴力が起きるのか、具体的な事例をとらえて暴力の構造を明らかにする。さらに、戦争以外の平和を阻害するさまざまな暴力について考察する。	◎	○		○	○				
	開発社会経済論	2	2	WB2348	国際社会と日本の読み替え科目である。国際社会における日本の地位、日本の協力のあり方を政府、民間の立場から考えていく。日本は国際的な地位は下がったものの、国内的に先進国意識を持ち、国際協力においても、先導的な役割を担うように国民からの期待が大きい。そうした日本と国際関係について、検討する。		◎	◎			◎	◎		
国際移民論	2	2	WB2349	国境を越えた人の移動がなぜ発生するのか、ヒトが国境を越えて移動すると、社会にどのような影響がみられるのか。国際移民論では、学生が国際移動のメカニズムとその影響を学ぶ。前半で国際移動の歴史と戦後の国際移動の形態の多様化を検討し、後半では国際移動を形づくるさまざまな社会制度に焦点を当てる。	◎			◎	◎					
国際日本学科	日本文化論	2	1	WB1219	日本の文化について、その成立や歴史的な背景、国内の地域文化の比較、外国人から見た日本文化などの観点から日本文化の特質に多角的にアプローチし、理解を深める。	◎	○		◎	○				
	日本対外関係史	2	1	WB1318	古代から現代にかけての日本の歴史と文化が、周辺アジア諸国・諸地域および世界の諸国・諸地域との関わりのなかで形成されてきたことを理解し、その関係性を尊重する精神を培う。	◎	○		○	◎	○			
	日本アジア交流史	2	2	WB2219	前近代における日本とアジア諸国・諸地域との交流の歴史を、東アジアから東南アジアにまたがる環シナ海文化圏の広がりのなかで考察・理解する。	◎	○			○	○	◎	○	
	比較宗教論	2	2	WB2350	神道、仏教、儒教、道教、民俗宗教、キリスト教を取り上げ、比較宗教の立場からグローバル社会における日本の宗教について学ぶ。	◎						◎		
	情報文化論	2	2	WB2351	本講義では、産業社会から情報社会への移行に伴って発生したさまざまな文化現象を取り上げ、それらの特徴について、各時代ごとに考察し、理解を深めることを目的とする。				◎					
	日本文化史	2	2	WB2352	日本の伝統文化の象徴である国宝や重要文化財などについて、その文化史的特徴や時代背景を中心に、国際・国内観光の資源としての側面も理解できるように講義を行う。	◎	○		◎					
	日本の思想	2	2	WB2353	近代の西洋思想受容以前の日本の思想について概観するとともに、特に近世の儒学・暦学・本草学・天文学・解剖学などの諸学問の発達過程とその内容を理解する。	○			○	○		◎		○

国際文化学部 2024年度適用カリキュラムマップ

ディプロマ・ポリシー	【知識・技能】	①日本および世界の各地域の文化・歴史・社会・政治・経済などを十分に理解し、グローバル社会における多文化理解ができている。 ②国際社会における文化的・歴史的・社会的・政治的・経済的な対立の構造を理解し、その解決のための行動のあり方を考察することができる。 ③多文化共生社会において求められる実践的な外国語運用能力とコミュニケーション能力を身につけている。
	【思考力・判断力・表現力】	④持続的・社会的形成のための思考力・判断力・行動力を身につけている。
	【主体性・多様性・協働性】	⑤多文化共生社会における豊かな許容性を理解し、協働の精神をもってその実現へ向けての考えを整理し、他者に対して説明することができる。 ⑥国際社会の一員として、十分な国際理解のもとに、国際交流活動に参画することができる。 ⑦「敬神愛人」の精神が国際社会・多文化共生社会の中で重要な実践課題であることを自覚し、地域との協働や他者理解の必要性をよく理解している。

◎: DP達成のために特に重要な科目

○: DP達成のために重要な科目

分野	新科目名	単位数	配当年次	ナンバリング	科目概要	カリキュラム・マップ							AL (アクティブ・ラーニング)
						①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
目	日本社会論	2	2	WB2354	外国の文献から見た日本における日本らしさを分析することにより、日本社会の特異性を明確に認識し、それが、日本社会の何を表象しているのかについて、考察を重ね	○	○	○	◎	◎	○	○	◎
	フィールドワーク	1	2	WB2355	特定の地域に足を運び、主体的な参観・観察・聞き取りを通じて地理・歴史・民俗・産業などを学ぶ。さらにその内容について仲間と議論することを通じて学びを深める。	◎				◎			○
	日本地域史論	2	3	WB3309	「日本史」の内部に時代の特徴に対応した弾力的な諸地域を設定し、その枠組みにおける地域の歴史と文化の特徴を考察し、国内の各地域史の特性(類似性と異質性)への理解を深める。	◎	○		○	○		◎	○
	日本のポップカルチャーとアジア	2	3	WB3310	日本のアニメ・マンガ等の大衆文化は海外、特にアジア(とりわけ東アジア・東南アジア)において人気があるが、文化面・産業面におけるアジア諸国と日本の関係を学び、グローバル社会における多文化理解に役立つ。	◎			○				
	日欧交流史	2	3	WB3311	「大航海時代」をリードしたスペイン・ポルトガル、およびその後近代化を推進するオランダ・イギリス・フランス等西欧諸国と、アジアに位置する日本・日本人の、交流と相互影響の歴史を考察・理解する。	◎	○			○	○	◎	○
関連科目	海外事情1	2	1	WB1319	国際理解教育の理念に沿って設定した学修プログラムにより海外の大学や施設、あるいは国際協力・支援機関や施設等における研修に参加した成果等を評価し、単位認定することができる。	◎				○	○		
	海外事情2	2	1	WB1320	国際理解教育の理念に沿って設定した学修プログラムにより海外の大学や施設、あるいは国際協力・支援機関や施設等における研修に参加した成果等を評価し、単位認定することができる。	◎				○	○		
	海外事情3	2	1	WB1321	国際理解教育の理念に沿って設定した学修プログラムにより海外の大学や施設、あるいは国際協力・支援機関や施設等における研修に参加した成果等を評価し、単位認定することができる。	◎				○	○		
	海外事情4	2	1	WB1322	国際理解教育の理念に沿って設定した学修プログラムにより海外の大学や施設、あるいは国際協力・支援機関や施設等における研修に参加した成果等を評価し、単位認定することができる。	◎				○	○		
	国際文化能力開発1	2	1	WB1323	国際文化についての理解を深め、それに基づく実践に役立つ知識・技能を身につける。	◎	○	○	○	○			
	国際文化能力開発2	2	1	WB1324	国際文化についての理解を深め、それに基づく実践に役立つ知識・技能を身につける。	◎	○	○	○	○			
	国際文化能力開発3	2	1	WB1325	国際文化についての理解を深め、それに基づく実践に役立つ知識・技能を身につける。	◎	○	○	○	○			
演習科目	国際文化基礎演習1	2	2	WB2101	専門演習に進むために必要な基本的アカデミック・スキルを習得することを目指し、国際文化学習に関連するテーマ(異文化、多文化、交流、支援など)を題材として、実践的に学習する。	◎							
	国際文化基礎演習2	2	2	WB2102	1に引き続き、専門演習に進むために必要な基本的アカデミック・スキルを習得することを目指し、国際文化学習に関連するテーマ(異文化、多文化、交流、支援など)を題材として、実践的に学習する。	◎							
	演習	8	3・4	WB3101・WB4101	国際文化学習の総括として学習者がテーマ(課題)を設定し、先行研究の検索・評価、対象とするテーマに即した資料収集、現地調査などを行い、教員の指導の下で設定した課題に関する取りまとめを行う。	◎							